

明日へ

令和6年度志布志市青少年研修事業



国外研修(高校生)



国外研修(中学生)



イングリッシュキャンプ



志布志市青少年研修実行委員会

志布志市教育委員会

発刊にあたって

志布志市の青少年研修事業は、昭和49年に岩崎産業株式会社社長岩崎與八郎氏から合併前の松山町、志布志町、有明町の青少年の健全育成に役立てるようにと寄付された各1千万円を統合し、基金として始められたものです。

参加者の多くは、地域振興の諸活動の中でリーダーとして活躍しております。

本年度も、国外研修を実施することができ、高校生はシアトルへ、中学生はオークハーバーへ、ともにアメリカ合衆国で研修を実施いたしました。

一方、国内研修につきましては、昨年度は台風の接近により中止としたイングリッシュキャンプを実施することができました。2年ぶりの開催となりましたが、小学生の枠を設け、また、講師として、ALTや小学校教諭、鹿児島大学生の力をお借りし、新たな形での研修となりました。

国際情勢の不安定化や、物価上昇等に伴う費用負担の増加、学びの多様化等、研修事業の在り方を再度見直す時期にきているのではないかと感じております。今後、実行委員会等様々な場面で意見を集約し、今後の研修事業の在り方を検討してまいります。

本年度事業を終了するにあたり、本冊子に研修生の感想等も掲載いたしました。研修生にとっては、多くの体験を通して、学び、得る物が多い研修になったようです。この体験を様々な場面で活かしてくれるものと期待しています。

本年度、本事業に御尽力くださった皆様に感謝致しますとともに、冊子の送付をもって御報告とさせていただきます。

令和7年3月

志布志市青少年研修実行委員会

志布志市教育委員会

青少年研修事業一覧

事業名	国外研修		国内研修
目的	異文化・異言語のアメリカの家庭及び学校生活を体験しながら、国際化時代にふさわしい自己の確立と自立心を学び取る。		異年齢の枠を超え、ALTとの交流、英会話の語学力向上を目指すとともに、自主性・創造性を加えながら英語でプレゼンができることを目指す。
研修名	国外研修		イングリッシュキャンプ
実施時期	8月3日(土) ～ 8月27日(火)	7月25日(木) ～ 8月19日(月)	7月21日(日) ～ 7月23日(火)
期間	25日間	25日間	2泊3日
研修先 交流先	ワシントン州 シアトル市	ワシントン州 オークハーバー	宮崎県青島青少年自然の家
委託先	ノース・アメリカン・ニッポン・エデュケーショナル・サービス	南日本カルチャーセンター	市ALT, 英語教員, 大学生等
対象者	高校生	中学生	小学5年生から中学生
	※全事業、市内に住所を有する者及び市内小学校・中学校を卒業し、保護者が引き続き市内に住所を有する者を対象とする		
定員	5名	5名	20名
応募者数	8名	11名	14名
派遣者数	5名	5名	13名
随行職員	なし	なし	3名
研修内容	語学力の向上をメインとした語学研修。 一般家庭にホームステイしながら、ノースウエスト・スクール（私立高校）へバス等で通学し、世界各国の子どもたちと学校生活を過ごす中で語学や文化の交流を行う。	アメリカの生活や文化等の体験型研修。 ホームステイで家族の一員として過ごし、午前中は現地教師による授業を受け、午後は社会見学やボランティア活動、レクリエーションを行う。	語学力向上、自主性・創造性・社会性を育む研修。 ALTが計画した、英語学習やゲームを通して英会話を中心に学ぶ。また、学習以外でも異年齢を行い、集団生活を通してルールやマナーを学び、洗濯等の日常生活体験行う。

国外研修(高校生)

Seattle training



2024.8.3～8.27

青少年研修事業（国外研修：高校生） 事業概要報告

1 目的

異文化・異言語のアメリカの家庭及び学校生活を体験しながら、国際化時代にふさわしい自己の確立と自立心を学び取る。

2 内容

語学力の向上をメインとした語学研修。一般家庭にホームステイしながら、ノースウエスト・スクール（私立高校）へバス等で通学し、世界各国の子どもたちと学校生活を過ごす中で語学や文化の交流を行う。

3 応募状況と参加者の決定

対象者：市内に住所を有する者及び市内小学校・中学校を卒業し、保護者が引き続き市内に住所を有する者

定員：5名

応募者：8名

選考：作文審査と面接審査及び英会話面接を総合的に判断し、5名を決定

審査員：実行委員長・生涯学習課長 ほか2名

A L T 3人

面接実施日：令和6年5月16日（志布志市役所志布志庁舎5階）

4 実施期間、事前研修等

月日	事業（内容）	備 考
5月27日 （月）	第1回事前研修・保護者説明会 （保護者説明、事業概要・研修内容説明、心構え、準備物等について）	志布志市役所 志布志庁舎
6月2日 （日）	曾於地区内合同交流会 派遣期間中一緒に行動する大崎町・曾於市の 派遣生との顔合わせ、事前提出書類等の書き方	曾於市役所 本庁舎
7月2日 （火）	第2回事前研修会 A L Tによる英会話練習、ホームステイでの留意点等	志布志市 文化会館
7月18日 （木）	国外研修合同出発式 決意表明発表等	志布志市 文化会館
7月21日 （日）	曾於地区合同事前研修 曾於地区内の研修生合同による英会話練習等	大崎町 中央公民館
8月3日（土） ～8月27日（火）	国外研修（高校生） （アメリカ合衆国 ワシントン州 シアトル市）	
9月3日 （火）	国外研修合同帰国式 研修を終えての感想	志布志市役所 志布志庁舎



第1回事前研修（令和6年5月27日）



曾於地区内合同交流会（令和6年6月2日）



第2回事前研修（令和6年7月2日）



曾於地区合同事前研修(令和6年7月21日)



出発式（令和6年7月18日）



出発（令和6年8月3日）



帰国(令和6年8月27日)



帰国式（令和6年9月3日）

シアトルで得た経験

尚志館高等学校 1 年

私は約三週間のシアトル研修でたくさんのことを学び経験することが出来ました。

学校では、庭で収穫した植物を使ってアイスクャンディーを作ったり、現地のお茶の感想をグループ内の他国の子や現地の子と意見交換し交流を深めたりしました。休み時間はシアトルの女の子と会話を積極的にし、日本のお菓子をあげたり、私の家族やペット、趣味の話など、コミュニケーションを取り、私が日本に帰ってから手紙でやりとりをして交流をもっています。学校でいろいろな人とコミュニケーションをとることができてとても楽しかったです。また、アメリカの学校では男性の先生がスカートを履いたり、大きいイヤリングを付けていたり自分の好きな物を身につけて個性をファッションに出している姿がとても良い事だと思いました。まだ日本ではなかなか昔ながらの考え方など、受け入れの難しい所もあるかと思いますが、この世界では十人十色、差別のない色々な個性で住みやすい日本になっていくと良いなと思いました。

学校が終わると家に帰って近所の友達とトランポリンをしたり公園に行って遊んだりしました。近所の友達の家でハンバーガーを食べた時は、自分なりの英語で会話をしました。思っていることがしっかり伝わっているのか不安だったけれど笑顔で会話をしてくれたので嬉しかったです。他にも、シアトル街を散策したり、シアトルマリナーズの野球の試合をホストファミリーと観に行ったりと毎日が楽しく、充実していました。私の夢である国際看護師の為にアメリカの病院の見学にも連れて行って下さり、とても貴重な経験をして益々と国際看護師への意欲が強くなりました。シアトルに行けて本当に良かったです。新しい友達を作ったり、新しい経験をする機会を与えてくださりありがとうございました。

これから五年間看護師国家試験に合格できるように一生懸命頑張ります。また少しずつ英語の勉強も頑張ります。

I am really glad I went to Seattle. Thank you for giving me the opportunity to make new friends and, have new experiences. From now on, I will study hard for the next five years so that I can pass the national nursing exam, and I will also work hard on study English little by little.

研修を通して学んだこと

尚志館高等学校 2 年

私は夏休みの約一ヶ月間でシアトル研修に参加しました。この研修が私にとって初めての海外経験で、英語が聞き取れるか不安でした。海外で働きたいと思っているので、将来のためにも英語力とコミュニケーション能力の向上を目標としました。

私が特に印象に残っていることは、ホストファミリーとの時間です。ホストファミリーは初日から私を温かく迎え入れてくれて、ショッピングや野球観戦に行ったり、一緒に日本食を作ったりして楽しい時間を過ごしました。私にとってホストファミリーとの時間は何よりも大切に 1 番思い出に残っています。短い期間でしたが第 2 の家族ができたようでまた必ず会うことを約束しました。

そして、私が感じた日本と海外の違いは、コミュニケーションの取り方です。私がレジで支払いをするときやお店で洋服を選んでいるときに私のネイルや服を見て声をかけてくれました。日本にはない社交的でオープンなコミュニケーションだと感じました。

また、学校ではみんな積極的に発言し、授業中に音楽を流しながら楽しく自由な雰囲気の中で学びました。街中では、アメリカの多様性を尊重し、個性を大切にしていることを実感しました。特に LGBTQ やジェンダーレスへの理解が深く、まだ理解の浅い日本では見慣れない光景をたくさん目にしました。ホストファミリーから「私たちは彼らを理解し、尊重している。」と教えてもらい、私自身の LGBTQ やジェンダーレスへの理解ももっと深まりました。

私はこの研修を通して、英語力やコミュニケーション能力の向上だけではなく、自分の将来を広い視野で見ることの大切さを知りました。また、貴重な経験を通して得た人脈を大切に、海外で働くという夢を叶えるためにこの研修で培った知識や学んだことを大切にこれからの学校生活や社会生活に活かしていきたいと思います。

シアトルの思い出

志布志高等学校 2 年

シアトルでの1ヶ月間の研修は、私にとって貴重な学びの時間となりました。まず、日常的に英語を使う環境に身を置いたことで、英語力が向上しました。最初は英語が速すぎて聞き取れなかったりしましたが、毎日の積み重ねで少しずつ自信がつき、スムーズに会話できるようになりました。特にホストファミリーとの会話を通じて、日常的な表現や文化的な違いに触れられた事が大きな収穫です。また、シアトルの学校に通ったことで、アメリカの教育システムや授業の進め方を学ぶ機会も得られました。アメリカの生徒たちは自分の意見をはっきり述べ、クラス内でのディスカッションも非常に活発でした。彼らの姿を見て、私も日本に戻った後は、自分の意見をもっと積極的に発言し、ディスカッションに参加しようと思います。この経験を通じて、異文化理解の重要性や、異なる視点から物事を考える力が養われました。

さらに、シアトルの観光や自然を体験できたことも大きな魅力でした。スペース Needleからの美しい景色や、パイププレースマーケットの活気ある雰囲気は、シアトルの文化や人々の生活を深く知るきっかけとなりました。また、週末に訪れたワシントン大学では、大学に通っている方のお話や、ワシントン大学の雰囲気を知れたり、アメリカンフットボールの試合を見たりととても良い経験をし、アメリカの多様な魅力を感じることができました。

この研修を通じて、私は言語力だけでなく、自己表現や異文化理解の面でも成長できました。新しい環境に飛び込むことで得た自信は、今後の挑戦にも繋がると思います。この経験を大切に、これからも積極的に学び続け、広い視野を持った人間になりたいと思います。シアトルでの全ての出来事は、私の人生において大切な宝物になりました。

Thank you for selecting me for this program.

シアトル研修での思い出

志布志高等学校 2 年

長いと思っていたシアトルで過ごす三週間も、毎日起こる沢山の新しい経験と同時にあっという間に過ぎていきました。

私は、渡米してすぐにホームシックにかかりそのまま体調を崩して入院しました。言葉も環境も大きく異なる場所で一人で過ごした夜は不安でいっぱいでしたが、側で支えてくれたホストファミリーや心配をして連絡をくれた友達、そして何より異なる言語でもしっかりコミュニケーションを図り、治療をしてくださった病院の先生方など、本当に多くの方々にお世話になりました。

退院してからは、初めは不安で仕方なかった一人での電車通学も、自分の部屋で過ごす長い夜もすべてのことが新鮮で楽しかったです。また、ホストファミリーと一緒にボードゲームや料理をしたり、家の周りを散歩したりとだんだん会話が増えていったことで自分の意見や考えをしっかりと表現できるようになり、学校では様々な国の友達ができました。この研修を通して、何事にもまずはチャレンジしてみること、恥ずかしがらず発言してみることが大切だと感じました。シアトルに行ったことで多くの人と出会い、関わることができたこと、沢山の経験をすることができたことは、必ずこれから先の私の財産になると思います。私を快く送り出してくれた家族や、家族の一員として温かく受け入れてくれたホストファミリー、その他にもサポートして下さった全ての方々に感謝したいです。

I am glad I was able to see and feel the differences between Japan and American culture with my own eyes.

I want to apply the many experiences and things I learned in America to my future life.

Someday, I will go abroad again as a more mature version of myself.

Thank you for all encounters.

シアトル研修を終えて

志布志高等学校 2 年

私は今回シアトル研修でとても貴重な経験をすることができました。シアトルに行く前には、楽しい気持ちもある反面、全然英語が話せなくてホストファミリーの人たちに迷惑をかけてしまうのではないかと心配や不安な気持ちもいっぱいでした。しかし、そんな不安な気持ちを忘れさせるくらい毎日が充実していて、ホストファミリーとも仲良くなることができました。最初は、相手の言っていることが理解できているのに返答に詰まることが多々あり、そんな時はとても悔しく感じました。しかし、毎日ホストファミリーと話をしたり、自分の意志をちゃんと伝えることを意識したら自然と英語に慣れていくことができたような気がします。英語ができなくてもジェスチャーなどを使って伝えようとする姿勢が大切だと感じました。

私たちが二週間通った学校には様々な国の人たちがいました。それぞれの国の言語を知らなくても、英語を使えばなんとかコミュニケーションをとることができました。英語を使って会話ができたときはとてもうれしくてもっと英語を上達させたいと思うようになりました。

ホストファミリーにはいろんな場所に連れて行ってもらいました。野球観戦や動物園、美術館、アメリカの有名な歌手のコンサートにも連れて行ってもらいました。今までの人生で体験したことのないことばかりで、毎日新しい発見がいっぱいでした。一緒にゲームをしたり、料理を作ったりしてたくさんいろんなお話をしました。とても親切に迎え入れてくれたことに感謝しています。そして今回この研修に行かせてくれた両親、支えてくださった先生方、旅行会社の方々、友人、すべての方々に感謝したいと思います。

I believe that what I Learned through this program will be very useful in my future life.

It's a memory I'll never forget, I'm really glad that I was able to participate in such a wonderful program.





国外研修(中学生)

Academic homestay



2024.7.25～8.19

青少年研修事業（国外研修：中学生） 事業概要報告

1 目的

異文化・異言語のアメリカの家庭及び学校生活を体験しながら、国際化時代にふさわしい自己の確立と自立心を学び取る。

2 内容

アメリカの生活や文化等の体験型研修。ホームステイで家族の一員として過ごしなが
ら、午前中は現地教師による授業を受け、午後は社会見学やボランティア活動、レ
クリエーションを行う。

3 応募状況と参加者の決定

対象者：市内に住所を有する者及び市内小学校・中学校を卒業し、保護者が引き続
き市内に住所を有する者

定員：5名

応募者：11名

選考：作文審査と面接審査及び英会話面接を総合的に判断し、5名を決定

審査員：実行委員長・生涯学習課長 ほか2名

A L T 3人

面接実施日：令和6年5月16日（志布志市役所志布志庁舎5階）

4 実施期間、事前研修等

月日	事業（内容）	備 考
6月6日 （木）	第1回事前研修・保護者説明会 （保護者説明、事業概要・研修内容説明、心構え、 準備物等について）	志布志市役所 志布志庁舎
6月23日 （日）	ZOOMオリエンテーション（1回目） 委託業者：南日本カルチャーセンター	
7月2日 （火）	第2回事前研修会 A L Tによる英会話練習、研修の詳細、ホームス テイでの留意点等	志布志市 文化会館
7月7日 （日）	ZOOMオリエンテーション（2回目） 委託業者：南日本カルチャーセンター	
7月18日 （木）	国外研修合同出発式 決意表明発表等	志布志市 文化会館
7月25日（木） ～8月19日（月）	国外研修（中学生） （アメリカ合衆国 ワシントン州 オークハーバー）	
9月3日 （火）	国外研修合同帰国式 研修を終えての感想	志布志市役所 志布志庁舎



第1回事前研修（令和6年6月6日）



第2回事前研修（令和6年7月2日）



出発式（令和6年7月18日）



出発（令和6年7月25日）



帰国（令和6年8月19日）



帰国式（令和6年9月3日）

勇気と信頼

松山中学校 1 年

私が国外研修で印象に残った活動は、週末の過ごし方です。毎週どこかへ連れて行ってくれました。動物園や公園、アイスクリーム屋さんなど色々な体験ができました。もちろん学校の行事でした、ベイクセールやハロウィンも楽しかったです。このような活動をしていくにつれ、友達とも気軽に話せるようになったり、一緒にいる時間が自然と長くなったりしました。友達は今でも大切な宝物です。

今回の経験で、コミュニケーションは積極的に取り組むと良いということ、それに、言葉だけが信頼を築くものではないということに気づきました。なぜなら、口ではなく一番は行動で示した方が相手にとって嬉しいことでもあるし、感謝などの自分の気持ちが一番に伝わると思うからです。また、日本を出るという恐怖感や、自分の持っている英語スキルで本場の英語を聞きとれるのかや、話して伝わるのかな等の数々の不安がおそいかかると思います。でもそこを乗り越える方法が一つあります。それは、勇気と色々な人に対する信頼です。自分ならできる！！という気持ちがあれば、未知の世界に飛びこむことなど簡単です。一度、自分の足で飛び込み、見たり、食べたり、さわったりして自分なりの感性を育ててあげるのも大切な学習であり、経験だと私は思いました。それをするためには、関わってくれた人に対する感謝と信頼が大切です。

私の夢は国税査察官です。なりたい、かなえたい未来の自分にとっては、大きな一歩であり、大切な一歩だと感じます。そのために、この経験を生かして、物事を広い視野で判断するようにしたり、もっと英語の勉強を頑張って資格をたくさんとったりしていきたいです。

そして何より感謝したいのは両親です。これからもさまざまな人への感謝を忘れず、私なりの人生を探して迷って進んでいきます。

国外研修を通して学んだこと

志布志中学校 1 年

私は、今回の研修を経て、学んだことや気づいたことが三つあります。

一つ目は、何事も自分で行う事の大変さです。私は、今まで洗たく・ご飯など生活の全てにおいて親にやってもらっていました。しかし、今回は食事の準備・洗たく・昼ごはん、生活に必要な事のほとんどを自分で行い、自分で作らないといけない大変さが分かり、親への感謝の気持ちが芽ばえました。

二つ目は、英語での相手への伝え方です。

私はずっと英語を文にして相手に伝えようとしていました。でもそんな時先生は、「文にできなくても、自分が分かる単語並べるだけでも全然いい。」と言っていました。それからは、文にできない時は、先生が言っていた様に単語を並べてみたり、他にもジェスチャーなど体を使ってみたりと、英語を文にできなくても相手に伝えるための方法はたくさんあるということを学びました。

三つ目は、肌で感じたアメリカと日本の違いです。まず一番は、気温の違いでした。オークハーバーは、いつも二十度代で長そでを着ていても少し寒いくらいでした。また、アメリカは全ての物が高くて、安い値段でさらにおいしいものが買える日本は、すごいなと感じました。他にも、信号が縦向きだったり、消防署に見学に行った際は、消防士のノリがすごく良くて、また、日本では見たことのない消防車がたくさんあったりと、この三週間でたくさんの気づきや発見がありました。

これから先、この経験を家・学校での生活そして、将来を決めるための大事な一つの選択肢として、いかしていきたいです。

This training will be a life long memory for me.

私の国外研修

志布志中学校 2 年

日本からも親からも離れてとてもワクワクし、自信にあふれているような感覚の中で私の国外研修はスタートしました。

しかしぎ着いてみると出発前の自信はなくなりどうしようもなくさみしくホームシックにかかってしまいました。

この時の私は何もかもがつらくホストファミリーの優しい言葉にも応えることができていませんでした。でも回りのサポートのおかげで学校や生活に慣れていくと同時に積極的なコミュニケーションの必要性を感じました。自分からの会話のチャンスを作ったり、授業で習ったことを TRY してみると自信もつき、英語をもっと学びたいという意欲にもつながりました。

生活の中で驚いたことは、私の住んでいる志布志市ではゴミの分別は当たり前ですが、アメリカでは、生ゴミ、プラスチック、缶、すべて大きなゴミ箱に捨てます。

始めは本当に捨ててよいのか後ろめたい気持ちになりました。ゴミの分別は義務でもなくこれだけの人口で考え方の違いなどからアメリカでは志布志市のような分別はできないだろうと思いました。大量に捨てられるゴミの行方も気になりました。

未来のために広い視野を持ち、私のできることを考えてこれから国外研修で経験したことも忘れずに自分の成長に生かせるよう頑張ります。

I will definitely go to America.

I will continue to have a passion for English so that I can enjoy it at the time.

ホームステイを通して

宇都中学校 3 年

私は、夏休みのホームステイを通して、様々なことを経験し学ぶことができました。日本とアメリカの文化の違いを肌で感じたり、たくさんの出会いがあったりと、数えきれないほどの新しいことを体験することができました。その中でも、私が一番感じたのは、やはり英語で会話することの難しさでした。英語を学ぶことが好きなので、ホームステイ先でも単語を並べて会話をがんばろうという気持ちでいました。でも、いざホストファミリーや現地の人を前にすると簡単な文も言えないほど、英語で会話することの難しさを実感しました。それと同時に自分の実力も知れました。自分の思いを伝えられないのがとても悔しかったのを覚えています。そこからは、ホストファミリーと会話をしたいという気持ちでいっぱい、文法など気にせず単語を並べ気持ちを言葉にする努力をしました。日が進むにつれ、会話も笑顔も増えていきました。なにより、自分の気持ちが伝わったり、ホストファミリーが言っていることの意味が理解できたときが一番、うれしかったです。この体験ができたことで更に英語に興味を持つことができました。

中学生で、このような貴重な体験をさせてもらえることは、当たり前ではなく費用を出してくれた両親、企画をしてくれた様々な方々のおかげで体験することができました。感謝の気持ちを持ち続けて生活したいです。この経験は、将来、何かを決めるきっかけになると思います。これからも、自分の目標に向かって一度決めたことは最後までという気持ちで一日一日を過ごしていきます。

This homestay has become a memory of my life.

I was doing the difficulty and fun of English.

So, I will continue to study English harder than now, and I want to improve my English and meet host family again.

Thank you for listening.

最高の3週間

志布志中学校3年

私は今回の留学で多くの経験をしました。大きく印象に残っているのは二つです。

一つめは、アメリカと日本の文化の違いです。やっぱりアメリカでの食事はほとんどがジャンクフードで、日本にいる頃には想像できないような食生活を送っていました。また、家もすごく大きく、ほとんどの物が日本でいうビッグサイズで日本とは規模が違うなと感じました。他にも、会計はだいたいカードですませる・人が入っていない部屋のドアは半開き・以外にも法定速度が厳しかったりなどいろいろありました。また、オークハーバーは日本の夏では考えられないような涼しさでとても快適でした。多くの異文化に戸惑いましたが、どれも新鮮で良い経験になりました。

二つ目は英語のコミュニケーションです。分かってはいましたが、やっぱり難しかったです。アメリカ人の英語は速くて、自分の知っている英語じゃないと思ったし、きっと相手も私の英語がカタコトすぎて何ていっているんだろうと思ったと思います。それでも何回も聞き返してみたり、文法はめちゃめちゃだけど、とりあえず単語を並べて話してみたりと、自分にできることを頑張りました。そんなこんなで一会話に毎回盛り上がっていたと思います。

時には分からなすぎて翻訳を使うこともあったけど、たくさん会話が続き、ホストファミリーと話せると、とても嬉しかったです。

この留学を通して、自分の英語力不足もすごく実感したけど、最高に充実した三週間でした。私を温かく迎えてくれたホストファミリーにも、留学費を出してくれた両親にも本当に感謝しています。

I would like to study English more and someday go back to Oak Harbor Where I have a host family that I love.





イングリッシュキャンプ



2024.7.21～7.23

青少年研修事業（イングリッシュキャンプ） 事業概要報告

1 目的

異年齢の枠を超え、A L Tとの交流、英会話の語学力向上を目指すとともに、自主性・創造性を加えながら英語でプレゼンができることを目指す。

2 内容

語学力向上、自主性・創造性・社会性を育む研修。

A L Tが計画した、英語学習やゲームを通して英会話を中心に学ぶ。また、学習以外でも異年齢を行い、集団生活を通してルールやマナーを学び、洗濯等の日常生活体験を行う。

3 応募状況と参加者の決定

対象者：市内に住所を有する者及び市内小学校・中学校を卒業し、保護者が引き続き市内に住所を有する者

定員：20名

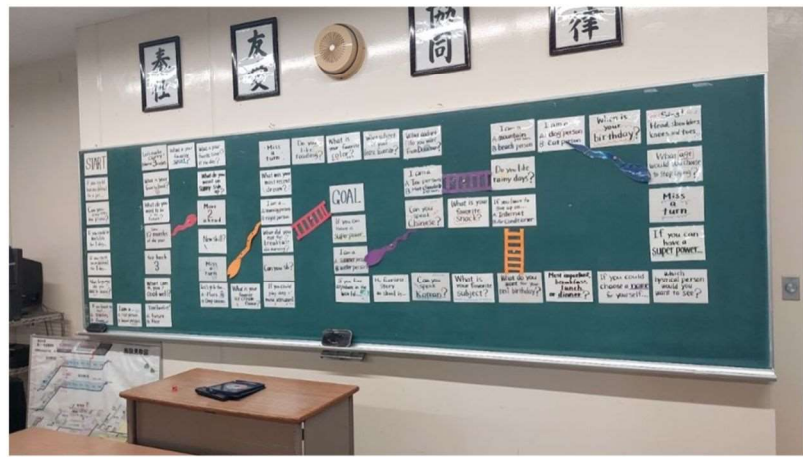
応募者：14名（小学生7名、中学生7名）

4 実施期間、事前研修等

月日	事業（内容）	備 考
7月9日 （火）	講師との事前協議 （計画書・プログラム確認、準備物確認）	志布志市役所 志布志庁舎
7月11日 （木）	事前説明会 （保護者説明、事業概要・研修内容説明、心構え、準備物等について）	志布志市役所 志布志庁舎
7月21日（日） ～7月23日（火）	イングリッシュキャンプ （宮崎県青島青少年自然の家）	
8月1日 （木）	事後報告会 （活動の振り返り、研修による発表（英語でのプレゼン発表）	志布志市役所 志布志庁舎

研修生 13名（小学生：6名、中学生7名）

※応募者のうち1名辞退





イングリッシュキャンプ

原田小学校 5 年

マイ ネーム イズ… 英語で自己紹介をしてからスタートした。私は人前で発表することが苦手でしたが、まちがえても声を大にして取り組みました。

二日目は、海外の伝統的なお祭りを英語をまじえて学びました。印象に残ったものは、ドイツで行われるトマトをなげ合うトマト祭り。クイズも出し合いながら、楽しく、参加することができました。

「アイム ハッピー」

三日目は、日本の昔からある竹トンボや、おてだまなどのおもちゃを、英語の ALT の先生方へ伝えました。ディスカッションして、「これはくるくるして、飛ばせる。」と英語で話し合った後、先生方から「グッド」「グレイト」ととびかったので自信ができました。これを通して、友達と協力すること、英語を積極的に日ごろから使いたいと思います。

楽しかったイングリッシュキャンプ

野神小学校 5 年

ぼくは、イングリッシュキャンプで1つ学びました。1つ目は、「英語ってむずかしいな」ということです。でもイングリッシュキャンプで学んだことや、こつこつ努力をつみ重ねることで新たなはっそうを次のステップでいかせることです。イングリッシュキャンプで新たに気づいたことは、友達かん係です。最初バスで出会ったところとちがって二日目は、先にこえをかけてくれる人とあとから声をかけてくれる人がいました。その一言で友達になれることがとてもうれしかったです。これからがんばりたいことは、未来の夢のことです。ぼくは、オーストラリアにすんで、日本のマックとオーストラリアのマックを食べ比べすることです。そのためには、英語をがんばっていろんな英語を覚えたいです。

イングリッシュキャンプでなかったらこのようなけいけんは、できませんでした。

イングリッシュキャンプ

山重小学校 6 年

私がイングリッシュキャンプに行こうと思った理由は楽しそうで、外国人の先生などと話をして英語を話せるようになりたいと思ったからです。私は知っている子が一人いたけどとてもきんちょうしました。

だけどみんな優しくて協力しながら楽しく学べたのでよかったです。

これからは、イングリッシュキャンプで学んだことを学校生活やしょう来、外国の人がこまっているときなどいろいろなことにやく立てていきたいです。イングリッシュキャンプに行けて本当にいいきかいになりました。

イングリッシュキャンプの思い出

原田小学校 6 年

夏休みに二泊三日でずっと楽しみにしていたイングリッシュキャンプに行きました。最初はきんちょうしてドキドキしていましたがすぐに友達も出来ました。学校で英語を教えてくれる ALT の先生方もいっしょに行き英語でたくさんコミュニケーションをしました。宿泊先の青島を英語でプレゼンテーションすることにちょうせんしました。どんな単語を使うかとても難しかったけれど自分なりに英語で発表出来たので良かったです。英語の勉強がメインの二泊三日でしたがみんなで青島をサイクリングしたりお祭りに行ったりとても良い思い出が出来ました。もっと英語で話したりできるようにになりたいです。

イングリッシュキャンプで学んだこと

山重小学校 6 年

私は、イングリッシュキャンプに参加して、文化や言語のちがう国の人に、自分の考えが伝わったときのうれしさを学びました。

心に残った活動は、ALT の方に、日本の文化を英語で説明する活動です。私たちのグループでは、折り紙を使ったつるの折り方を説明しました。すべて英語で説明するのは難しかったけれど、ジェスチャーや似た意味の単語を使い、なんとか説明することができました。日本では当たり前のような存在の折り紙ですが、ALT の方にすごく喜んでもらえたので、うまく伝わってよかったな、とうれしい気持ちになりました。

他にも、友達と協力することの楽しさや、いろんな国の文化を知る面白さなど、多くのことを学びました。今回の経験を通して、私には英語力が足りないと思いました。もっと英語力をつけるために、ホームステイなどのチャンスがあったら、積極的に参加していきたいです。

イングリッシュキャンプ

野神小学校 6 年

私が、このイングリッシュ研修で学んだことは、いろいろなゲームや学習を英語でしてしたことのない遊びや学習をしてとても楽しかったです。その中でも英語で学習して初めは分からなかった英語などが少しずつ分かってきてとてもうれしかったです。

これから頑張りたいことは、毎日少しずつ英語を話せたらいいなと思いました。初めは、人とのコミュニケーションがあまりできなかったけど、どんどんコミュニケーションが出来てきてとてもうれしかったです。

そして外国人の人ともコミュニケーションがとれたらうれしいです。

このイングリッシュキャンプで学んだことをこれからも繋いでいきたいなと思いました。

「ぼくの学んだこと」

志布志中学校 1 年

ぼくはイングリッシュキャンプに行き学んだことが主に2つあります。

一つ目は、たくさん英語のことを知ることです。英語にはたくさんの単語を覚えたり、文の組み合わせ方や答え方を考えたりなどしとかなないといけないことがたくさんあります。それでも、ちゃんと身につけないといけないのでイングリッシュキャンプを通じて今やるべきことはなにかと分かってきました。

二つ目は、英語にしっかりと向き合うことです。英語はしっかりと続けていきながら学習しないと意味がありません。しっかりと続けていくためにはなるべく効率が良いやり方がいいのだとイングリッシュキャンプで実感することができました。

このように、ぼくには英語をどのように理解するかなどイングリッシュキャンプから学ばせてもらいました。

イングリッシュキャンプを通して

伊崎田中学校 1 年

私は、イングリッシュキャンプで学んだことが二つあります。一つ目は、他の国から来た ALT の先生方との交流です。この交流で先生達がいらっしゃった国のたくさんの文化が知れました。また、他の先生方からは、文の作り方の構成が学べました。二つ目は、他校の生徒との交流です。私の中学校は、このイングリッシュキャンプで一人でした。他の子は、兄弟や友達と来ていた人が多かったので、「仲良くなれるかな。」と心配していましたが、このキャンプで、先生達と一緒に友達との交流が深まったので良かったです。なので私は、このキャンプでの英語の作文の構成など英会話で仲を深めることが大切と知れたのでこの二つのこととイングリッシュキャンプで教えてもらったことを私生活の中で生かして役立てていきたいです。

世界に羽ばたく

志布志中学校 1 年

私がイングリッシュキャンプで学んだことは、他の国の知らない言葉を話す人でも仲良くなれる、通じあえるということです。私は人とコミュニケーションをとるのが苦手です。だけど今回の二泊三日で少し苦手意識もなくなりました。英語に自信がなくても発音が聞きとりづらくても全然伝わらないことはない。自分の気持ちを相手に少しでも分かってもらえるように知ってる単語をくみあわせれば伝わるということに気付きました。

私がこれから英語を通して頑張りたいことは、将来色々な国に行って色々な国の友達を作りたいということです。その国の言語を話せなくても英語は世界の人との共通語みたいなものだから、話せたら仲良くなれると思います。

私がこれからつなげていきたいことは、英検です。私はまだ英検を持っていないので、将来三級以上はとりたいと思っています。これから、もっともっと英語を深く学びたいと思います。

イングリッシュキャンプについて

宇都中学校 1 年

僕は夏休みにイングリッシュキャンプに参加して、いろいろなことを学びました。

僕は英語はあまり好きではなく、どちらかというと不得意教科ですが、イングリッシュキャンプでは、たくさんの ALT の先生と英語で話してみたり、英文を書いてみたりして学校で習う英語とは少し違ったことをやってみたりしてとても楽しかったです。

これからの英語の学習では「苦手だから、できないから、やらない。」ではなく、しっかり授業に集中して取りくみ、分からないことはしっかりと先生に質問するようにしたいです。そして最終的には英語でいろんな人とコミュニケーションをとれるようになりたいです。

イングリッシュキャンプについて

宇都中学校 2 年

私は去年の夏、イングリッシュキャンプに参加して、英語を学び、身につけ、生きた英語を話すには、学校の授業などの他にイングリッシュキャンプのような、外国人とふれあい、英語で日常会話を行うことがとても大切だと分かりました。外国人の先生や他校の人と英語を通して関わろうとすることで、どのような単語を使って話せば、自分の気持ちがより正確に、簡単に伝わるのかを考えたり、英語の聞きとりに慣れたりすることができました。イングリッシュキャンプに参加したことで、英語を学ぶことで得られることをより理解しました。

私は正直、英語は得意ではありません。リスニングなんて何を言っているのかさっぱり分からないこともあります。ですが、イングリッシュキャンプで英語を学ぶ楽しさに気付きました。これからはたくさんの「苦手」に出会おうと思いますが、のりこえて、好きになっていきたいです。

イングリッシュキャンプを振り返って

有明中学校 3 年

私は冬に高校受験を控えています。なので苦手な英語を克服するための良い機会だと思い、仲の良い友達と参加することにしました。

この研修では、学校とは違った英語の学習をしました。例えば、英語版のすごろくであったり、また外国のイベントを知って行ってみたい国もみつかりました。そして、異学年の人たちとも英語を通して交流し、新しい友達もできました。学習だけではなく一日目には青島神社の近くを観光することもできました。この三日間は、たくさん勉強し、たくさん楽しんだことで充実した三日間を過ごすことができました。

今回のイングリッシュキャンプで学んだことをこれからの生活や英検取得において生かしていきたいと思いました。今回関わって下さった市職員の方々、そして先生方、保護者に感謝したいと思います。

イングリッシュキャンプに参加して

有明中学校 3 年

「コミュニケーションの大切さ」

今回のイングリッシュキャンプに参加して私が学んだことです。

私は、人とコミュニケーションをとるのが得意ではないため、最初はイングリッシュキャンプの参加を迷っていました。しかし、参加して外国の人と自己紹介をしたり、ゲームをしたり英語の本を読んだりする中で、たくさんの人とコミュニケーションをとることは大切だと感じ、私はイングリッシュキャンプを終えて、今後は積極的にコミュニケーションをとろうと強く思いました。緊張はするけど、まずは一歩踏み出して歩み寄ることの必要性も学びました。

私は、今英語の習い事をしているため、高校では、英語を勉強したいと思っています。

なので、積極的に英語と関わって、さらに英語が得意になるように頑張りたいです。

事後報告会（令和 6 年 8 月 1 日）



グループ① 発表



グループ② 発表



グループ③ 発表



グループ④ 発表



グループ⑤ 発表